

SONY®

4-691-338-02(1)



* 4 6 9 1 3 3 8 0 2 * (1)

壁掛けユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
ご理解をお願いします。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかが示されています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ


壁掛けユニットの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧のうえ、設置を行ってください。取り付け不備や、お取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。


警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止

対応モデル

対応モデルについては予告なく変更になる場合があります。本製品が使用できるかどうかはテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

お客様へ



警告



火災




感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・落下**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

取り付け工事は専門業者に依頼する

また取り付けのときは幼児を遠ざける

正しく取り付けないと、以下のようになります。取り付けは専門業者にご依頼ください。  禁止

- テレビが落ちると、打撲や骨折など大けがの原因となります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビの質量の6倍に耐えられる強度が必要です。(テレビの質量は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。)
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。


テレビの移動や取りはずしは、専門の業者に依頼する

専門業者以外の方が移動や取りはずしを行うと、テレビが落下したりして、けがや破損の原因となることがあります。また、移動や取りはずしは、必ず2人以上で行ってください。また、設置するときは、お子様が近づかないようにしてください。

テレビを取り付けたあとはネジなどをはずさない

テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。


取り付け部品の変更は行わない

壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となることがあります。  禁止


対応モデル以外のものを掛けない

この壁掛けユニットは対応モデル専用です。対応モデル以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。


テレビ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。  禁止

テレビに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

テレビがはずれ、下敷きになり大けがの原因となることがあります。  禁止

テレビをむやみに上下左右に揺らさない。

落下による怪我や破損の原因となります。  禁止

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

- 指をはさまないように充分注意してください(ブラケット/スィーベル操作時)。
- スィーベル操作をするときは周囲の人に壁掛けのテレビをぶつけないよう、ゆっくりと操作してください。
- ブラケットを使用しない場合には、お子様の手が届かない場所に保管してください。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

使用上のご注意

- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、はずした場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 機械的振動の多い場所では使用しないでください。

壁掛けユニットを取り付ける

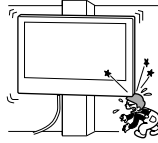
販売店様・特約店様用

⚠ 警告

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みのうえ、設置および保守・点検などを安全に行ってください。

テレビがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまうような場所には取り付けしないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。

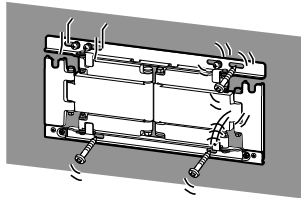
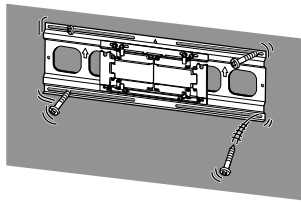


エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ(径8mm相当4本以上)で、しっかりと固定してください。



取り付け金具は、取扱説明書の使用方法を守ってご使用ください。また、取扱説明書にない代替品を使用すると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

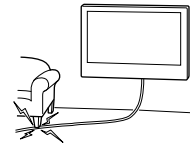
垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、テレビが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。



壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません

壁の材質や構造に適したネジをご使用ください。

テレビを床に垂直に取り付けて固定する

テレビを傾けた状態で取り付けると、テレビが落下して、けがや破損の原因となります。

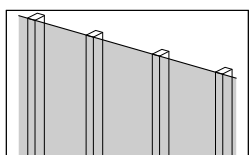
目次

テレビを取り付ける壁の種類は？	4
作業の流れ	5
付属品、必要な工具など	6
9500Eシリーズのテレビ	
【A】木柱壁または間柱のある石膏ボードにテレビを取り付ける	8
【B】コンクリートまたはコンクリートブロック壁にテレビを取り付ける	20
9000E/8500Eシリーズのテレビ	
【A】木柱壁または間柱のある石膏ボードにテレビを取り付ける	25
【B】コンクリートまたはコンクリートブロック壁にテレビを取り付ける	37
主な仕様	42

テレビを取り付ける壁の種類は？

はじめに、テレビを取り付ける壁の種類を確かめてください。
壁の種類によって、必要なブラケットの数が異なります。

木柱壁、または間柱のある石膏ボードの場合

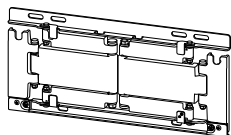
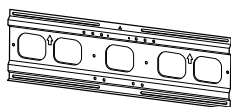


ご注意

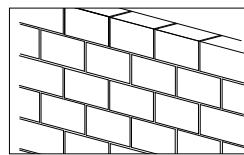
- 壁面を覆う石膏ボードや、壁面パネルなどの厚みは、16mm未満にしてください。
- 壁掛けブラケットを取り付ける柱の寸法は、取り付ける面の幅38mm、奥行き89mm以上が必要です。
- 柱と柱の間隔は、406mm以上必要です。



木柱壁用壁掛けブラケットと壁掛けブラケットを使用してください。



コンクリート、またはコンクリートブロック壁の場合

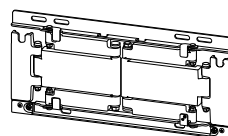


ご注意

- 壁掛けブラケットは、直接コンクリート面に取り付けてください。
- 壁掛けブラケットを取り付ける壁の厚さは、203mm以上必要です。
- コンクリートブロック壁の場合、コンクリートブロックは、203×203×406mm以上必要です。



壁掛けブラケットを使用してください。



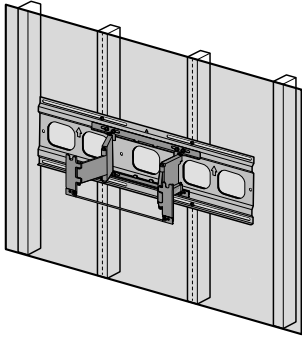
作業の流れ

1 壁掛けブラケットを壁に取り付ける。

壁の種類に合わせて、ブラケットを用意します。

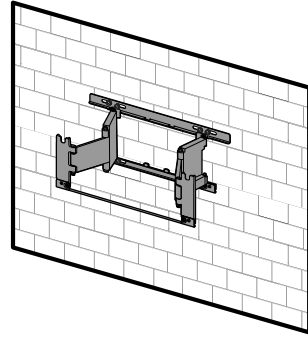
木柱壁、または間柱のある石膏ボードの場合

木柱壁用壁掛けブラケット
+
壁掛けブラケット

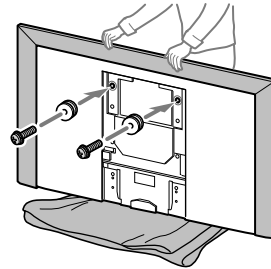


コンクリート、またはコンクリートブロック壁の場合

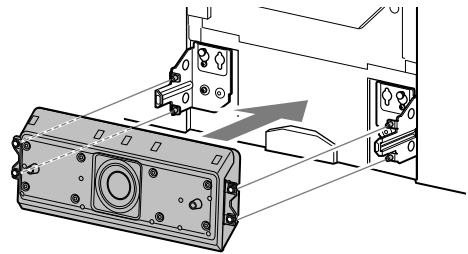
壁掛けブラケット



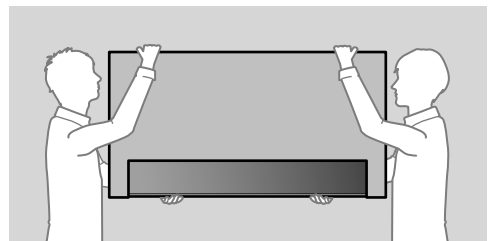
2 テレビに、壁掛け金具などを取り付ける。



3 テレビに、サブウーファーを取り付ける (9500Eシリーズのテレビのみ)。

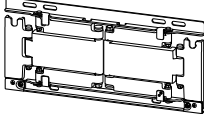

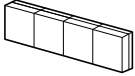
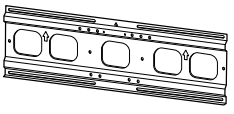

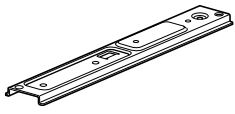
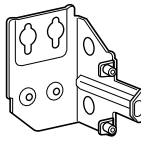
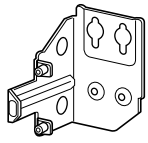






4 テレビを壁に掛ける。



付属品、必要な工具など

付属品一覧

<p>WM1</p>  <p>壁掛けブラケット (1個)</p>	<p>WM2</p>  <p>プーリー (2個)</p>	<p>WM3</p>  <p>クッション (4個)</p>	<p>WM5</p>  <p>木柱壁用壁掛け ブラケット (1個)</p>
<p>WM6 *</p>  <p>クッション (2個)</p>	<p>WM7 *</p>  <p>壁掛け金具 (2個)</p>	<p>JW1</p>  <p>サブウーファー 固定用金具 L (1個)</p>	<p>JW2</p>  <p>サブウーファー 固定用金具 R (1個)</p>
<p>M6L23</p>  <p>ネジ 6 mm × 23 mm (2個)</p>	<p>M6L13</p>  <p>ネジ 6 mm × 13 mm (2個)</p>	<p>WS1</p>  <p>ネジ 8 mm × 15 mm (6個)</p>	
<p>M6L23 *</p>  <p>ネジ 6 mm × 23 mm (4個)</p>			

* SU-WL820のみ

必要な工具など(付属していません。ご用意ください。)

 <p>電動ドリル/ ドライバー</p>	 <p>φ5.5mm以上 (木柱壁、または間柱 のある石膏ボードの 場合)</p>	 <p>φ10mm (コンクリート、また はコンクリートブ ロック壁の場合)</p>		 <p>ドライバー (短めのももご用意 ください。)</p>
 <p>テープ</p>	 <p>筆記具</p>	 <p>水平器</p>	 <p>ハサミ</p>	
<p>■木柱壁、または間柱のある石膏ボードの場合</p>				
 <p>間柱センサー (間柱位置の確認用)</p>	 <p>8mm径相当の木ネジ(4本)</p>	 <p>外径φ18mm以上の 平ワッシャー (4個)</p>		
<p>■コンクリート、またはコンクリートブロック壁の場合</p>				
 <p>ハンマー</p>	 <p>8mm径相当の木ネジに適した φ10mm相当のコンクリート 用プラグ(4本)</p>	 <p>8mm径相当の木ネジ(4本)</p>		

壁の材質に合った木ネジやコンクリート用プラグ、ワッシャーを用意してください。
(本製品には付属していませんので、販売店や工事店にご依頼ください。)

9500Eシリーズのテレビを設置する場合

8～24ページをご覧ください

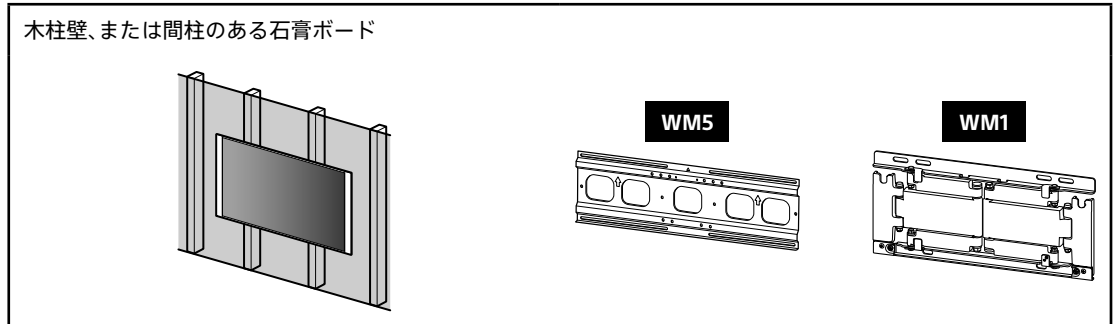
9000E/8500Eシリーズのテレビを設置する場合

25～41ページをご覧ください

9500Eシリーズのテレビ

A 木柱壁または間柱のある石膏ボードにテレビを取り付ける

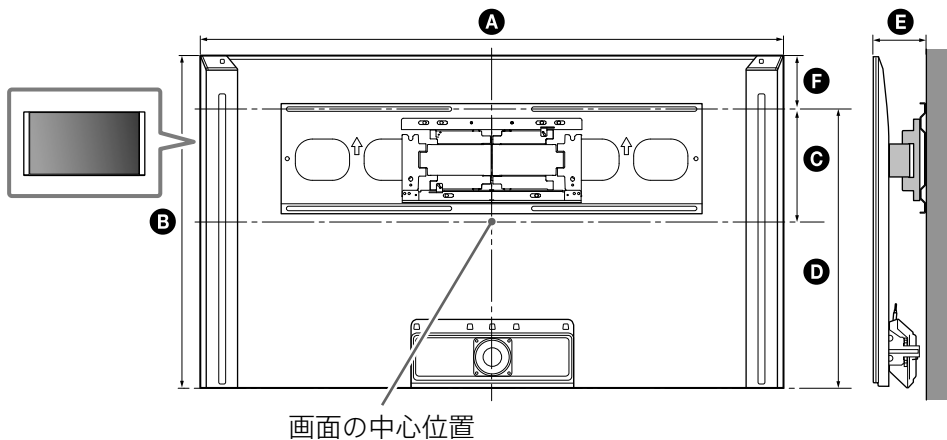
手順1：壁掛けブラケットを壁に取り付ける

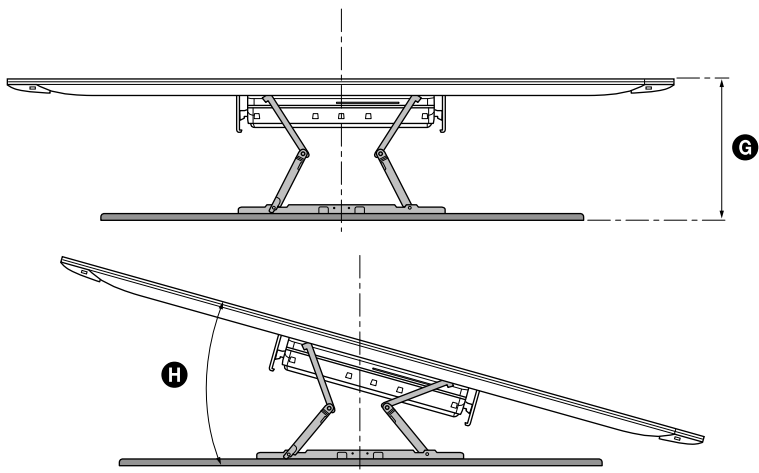


1 テレビの取り付けに必要な壁の強度とスペースを確認する。

取り付ける壁には、テレビの質量の6倍に耐えられる強度を要します。

テレビを取り付ける壁に、テレビを取り付けられる十分なスペース（幅、高さ、奥行き）があるかどうかを確認してください。



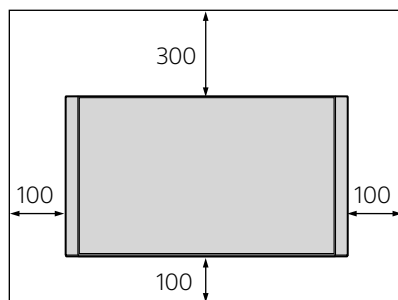


テレビモデル名	A	B	C	D	E	F	G	H* (°)
KJ-65X9500E	1592	838	268	691	127	147	309	14
KJ-55X9500E	1373	715	330	692	127	23	229	12

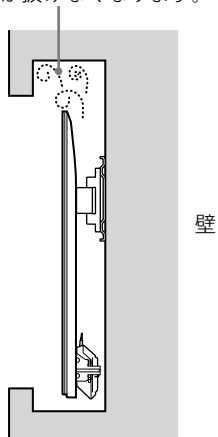
テレビ取り付けのための寸法表 (mm)
 数値は、実際と若干違いがある場合があります。

* 角度はおおよその値です。

テレビの周囲には、右の図に示す寸法の空きが必要です。
 単位：mm



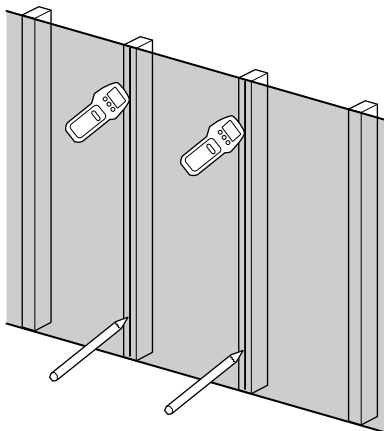
次のような設置はおやめください。
空気が抜けなくなります。



ご注意

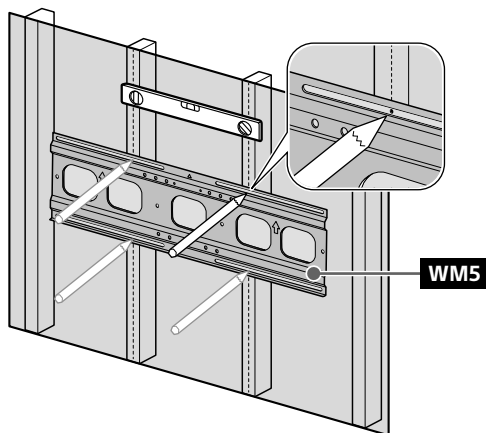
- 壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかを確認してください。

2 間柱センサーを使って、柱を探索し、梁位置の中央に線を引く。



3 木柱壁用壁掛けブラケット WMS を壁にあて、柱に合わせて穴あけ位置の印(4箇所)を付ける。

ブラケットが床と平行になるように、水平器を使用してください。

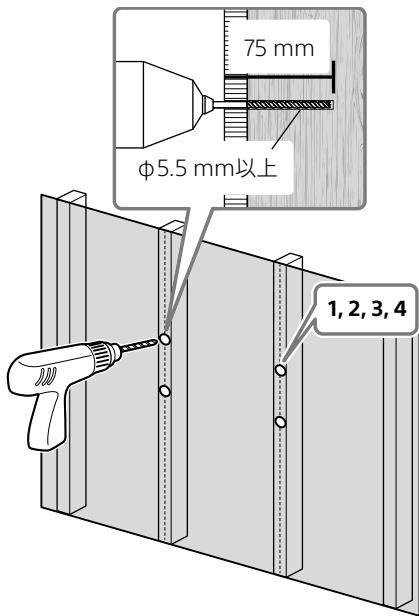


ヒント

- テレビを通常視聴される環境(ソファなど)で、テレビを取り付ける位置を調整することをおすすめします。



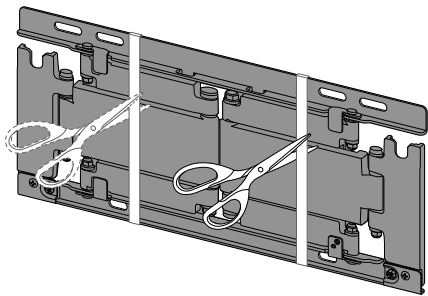
4 印に合わせて柱に下穴(4箇所)をあける。



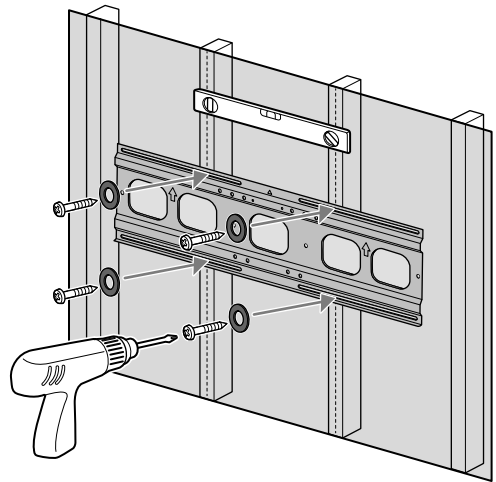
ご注意

- 必ず、木柱の中心線上に穴を開けてください。
- 下穴は、5.5mm径以上のドリルで、75mmの深さまで開けてください。

5 壁掛けブラケット **WM1** のバンドを切る。



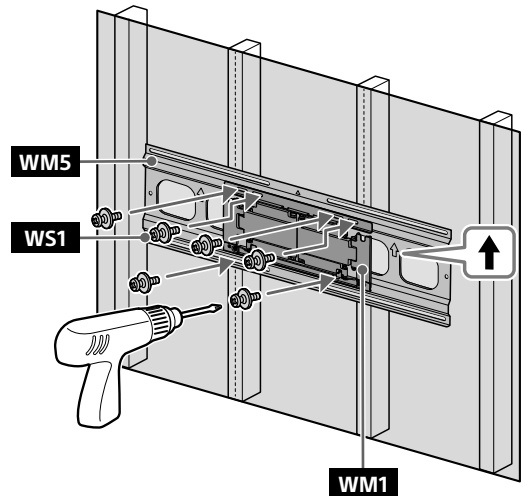
6 木ネジ(別売)とワッシャー (別売) で、木柱壁用壁掛けブラケット **WM5** を壁に取り付ける。



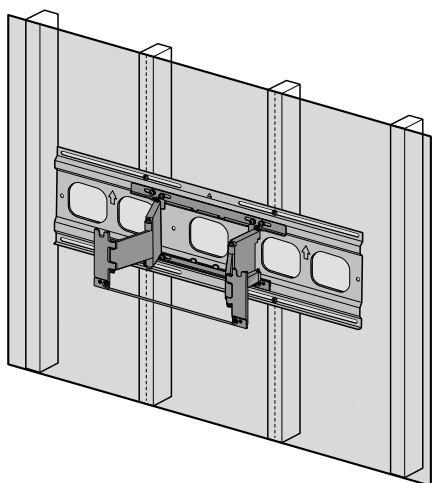
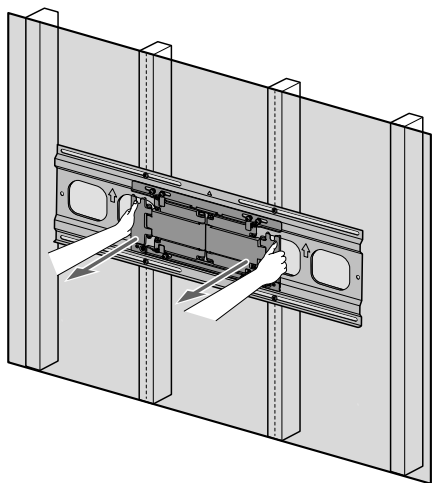
ご注意

- 正しく取り付けないと、木ネジでしっかり支えることができません。また、木ネジを締め付けすぎないようにします。
- 木ネジを締め切る前に、ブラケットが水平になっているか水平器を使って確認してください。

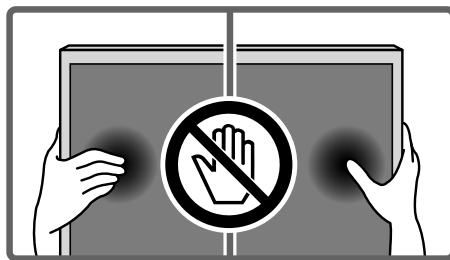
7 ネジ **WS1** で、壁掛けブラケット **WM1** を木柱壁用壁掛けブラケット **WM5** に取り付ける。



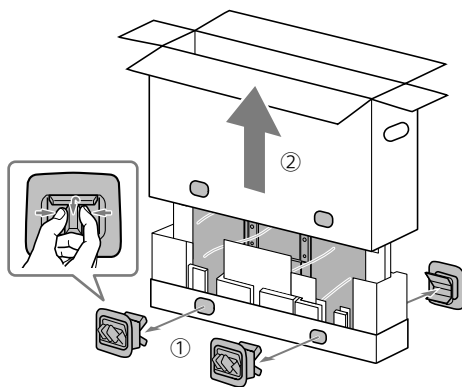
8 壁掛けブラケット **WM1** のアームを手前に引く。



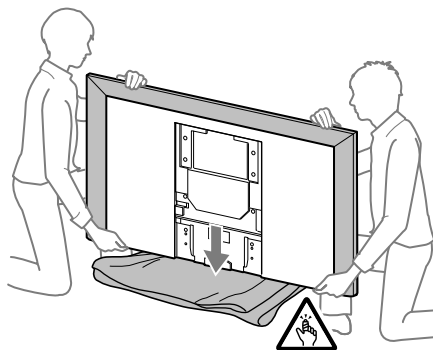
手順2：壁掛け金具を取り付ける



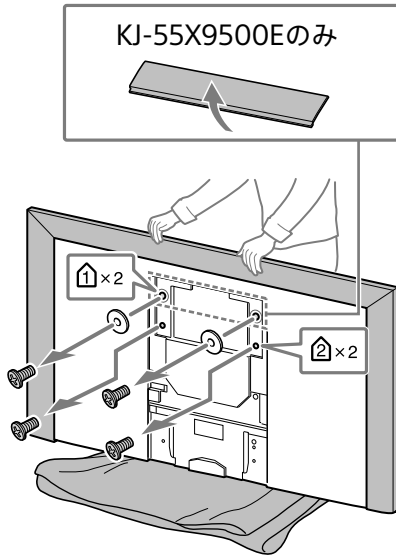
1 カートン(箱)からジョイントを取り外し(①)、箱の上部を取り外す(②)。



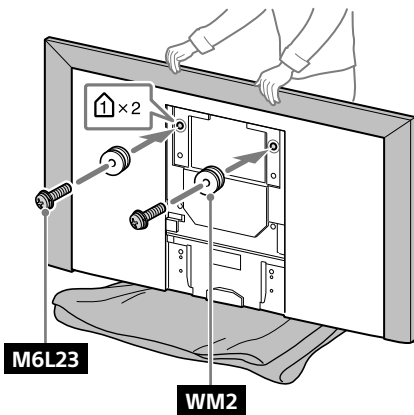
2 床に厚みのある布などを敷き、テレビをその中央に置く。



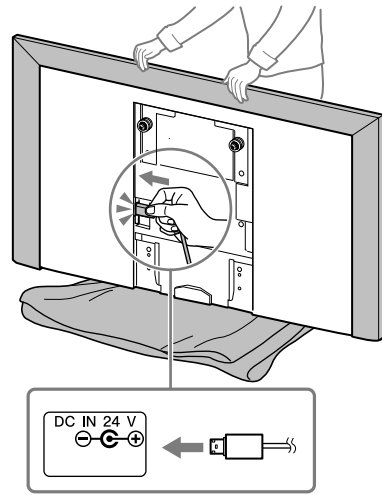
- 3 テレビの背面からネジを4本とスペーサー 2個を取り外す。



- 4 ネジ **M6L23** で、テレビの背面にブリー **WM2** を取り付ける。



- 5 テレビ背面に、ACコードを取り付ける (KJ-55X9500Eのみ)。



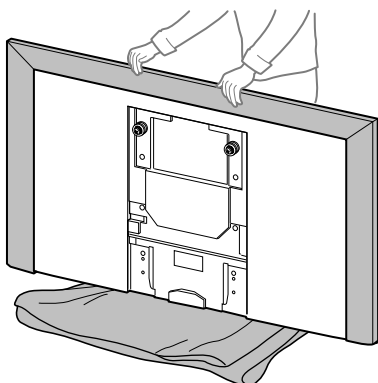
ヒント

- ACコードはテレビに付属しています。

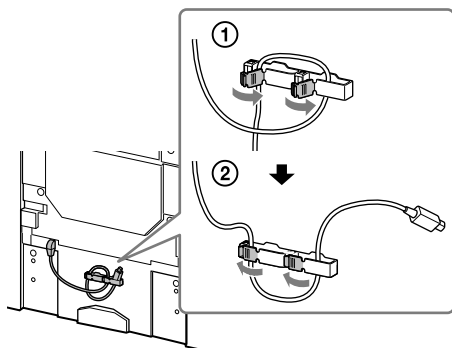
手順3：テレビに、サブウーファーを取り付ける

ご注意

- サブウーファーを付けないと、テレビから音が出ません。
 - 床に厚みのある布などを敷き、テレビをその中央に置いた状態(下図)で、ウーファーの取り付け作業を行ってください。
- また、テレビが倒れないように、作業中は1人がテレビを支えてください。

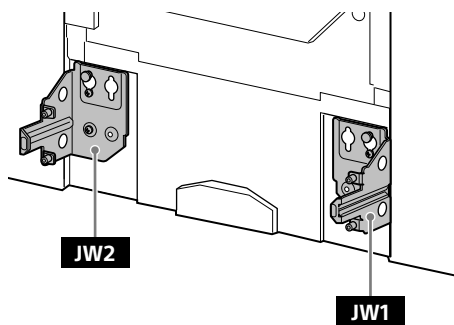


1 テレビ背面のサブウーファー用ケーブルを、ケーブルクランパーから取り外す。

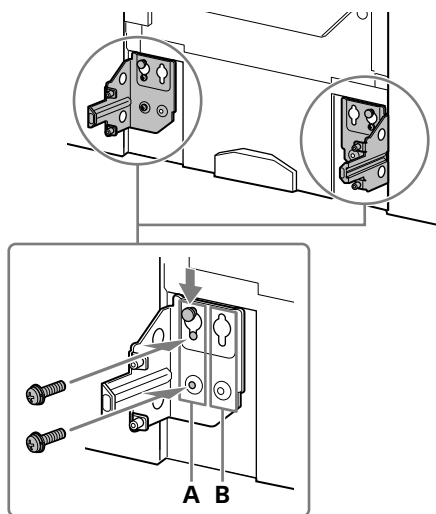


- ケーブルクランパーの横を押して、開きます(①)。
- 図のようにケーブルを通して、ケーブルクランパーを閉じます(②)。

2 テレビ背面にサブウーファー固定用金具L JW1 とサブウーファー固定用金具R JW2 を取り付ける。

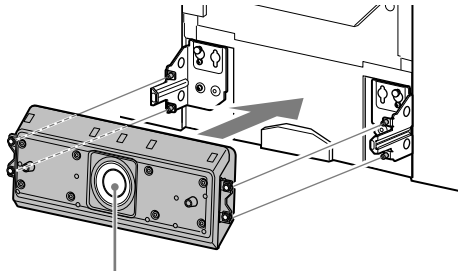


3 サブウーファー固定用金具L JW1 とサブウーファー固定用金具R JW2 を、テレビに付属のネジ M5L16 で留める。



KJ-65X9500E : A → × 4
 KJ-55X9500E : B → × 4

4 サブウーファーをテレビに取り付ける。



スピーカー振動部



スピーカー振動部には触れない
(故障の原因となります。)

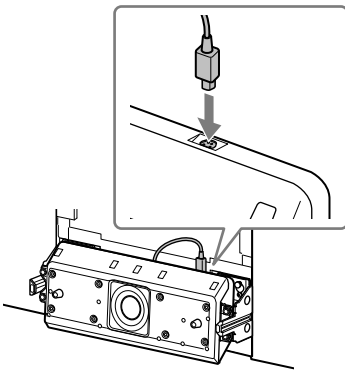
ヒント

- サブウーファー **WF** はテレビに付属しています。

ご注意

- 壁掛けでは、テレビに付属のサブウーファーのカバー **GR** は使用しません。

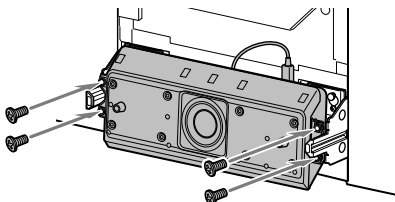
5 サブウーファー用ケーブルをサブウーファーに取り付ける。



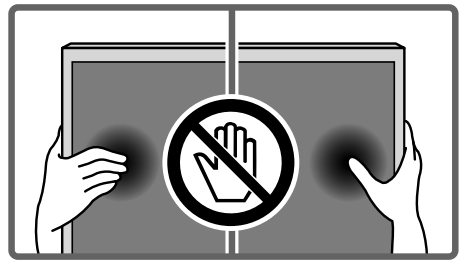
ご注意

- サブウーファー用ケーブルを取り付けないと、テレビから音がでません。

6 サブウーファーをテレビに付属のネジ **M4L6** で留める。

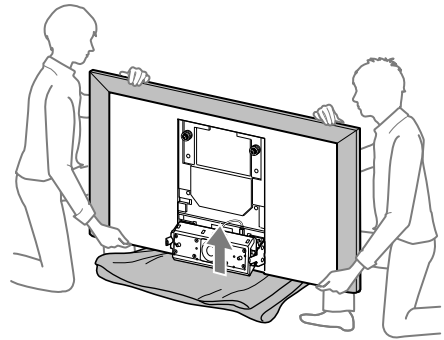


手順4：テレビを壁に掛ける

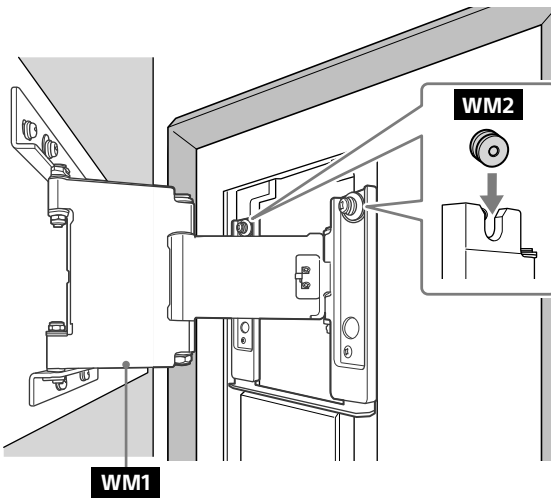
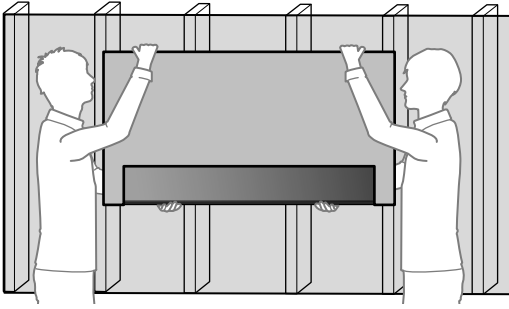


- 液晶画面を押さえたり、強い力を加えたりしないでください。

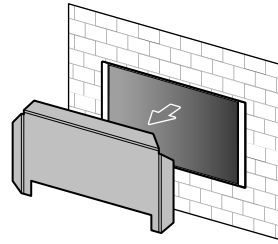
1 テレビを持ち上げる。



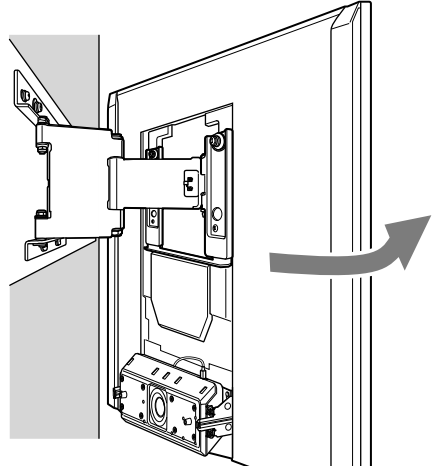
2 テレビ背面のプーリー **WM2** を壁掛け
ブラケット **WM1** に取り付ける。



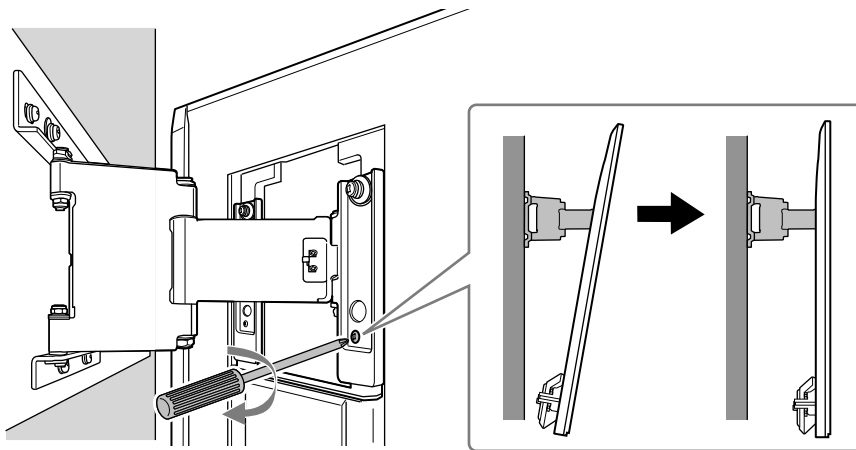
3 保護カバーをテレビから取り外す。



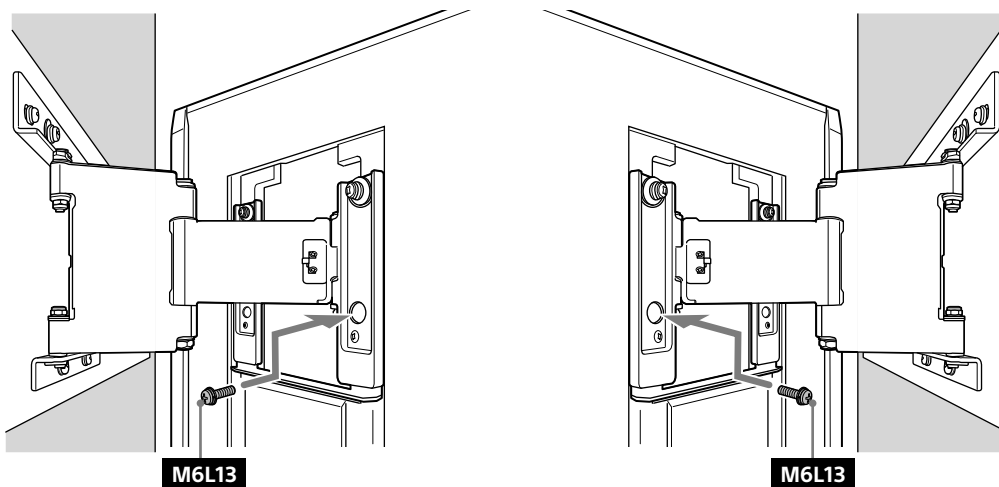
4 テレビを壁から離す。



5 壁掛けブラケット **WM1** の左右に付いているネジで、テレビの角度を調節する。

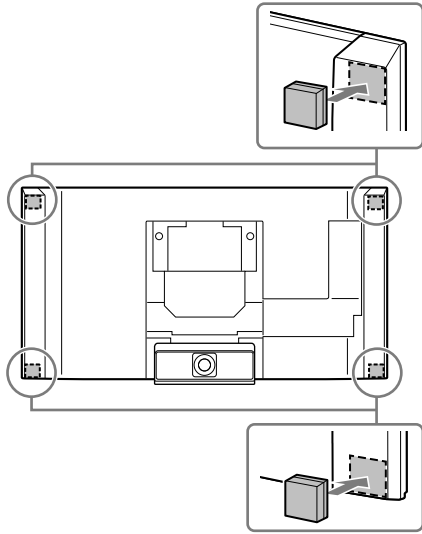


6 ネジ **M6L13** で、壁掛けブラケット **WM1** とテレビを固定する。

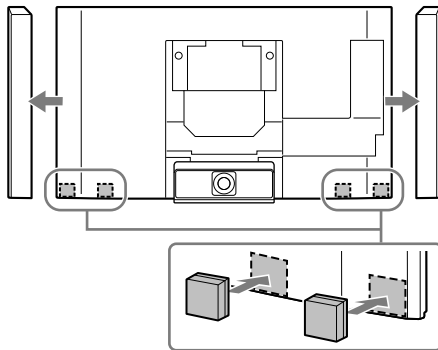


7 クッションを取り付ける。

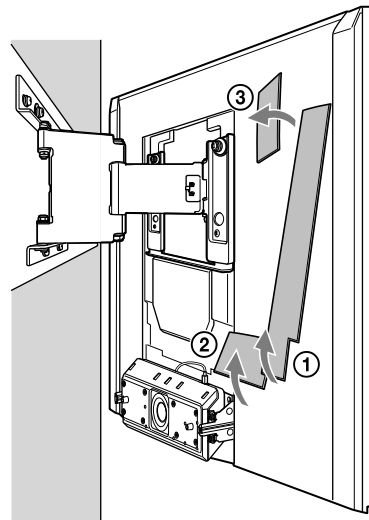
WM3 を使用



サイドスピーカーをはずして使用する場合はクッションを以下の位置に取り付けてください。



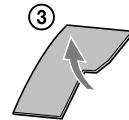
8 テレビ背面のカバーを取り外す。



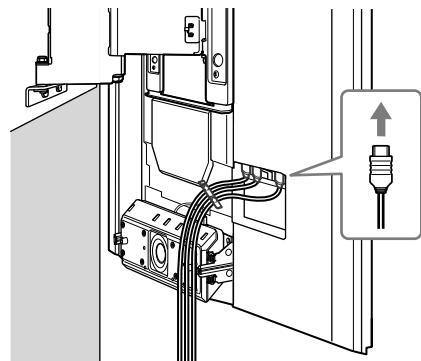
- ①②③の順でカバーを取り外します。
B-CASカードを挿入するスロットは、③の中にあります。

ご注意

- KJ-55X9500Eでは、③のフタを開ける向きは下図のようになります。



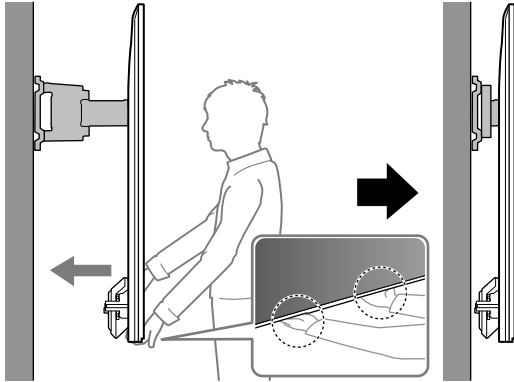
9 ケーブル類を取り付ける。



ヒント

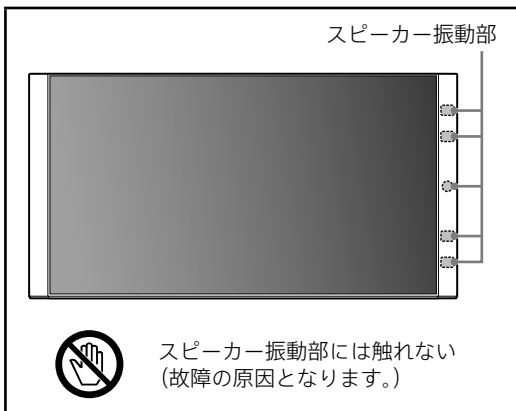
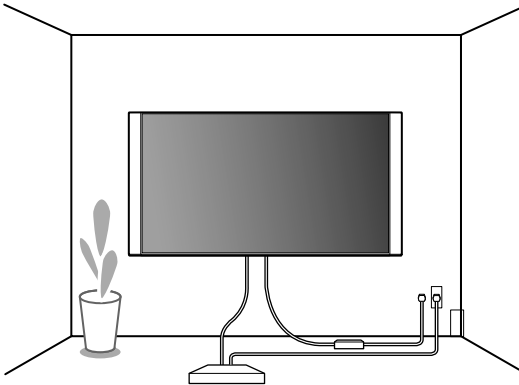
- ケーブル類の取り付けについて詳しくは、テレビに付属の「組み立て／設置ガイド」をご覧ください。

10 テレビの下部を持って、テレビを壁側に動かす。



ご注意

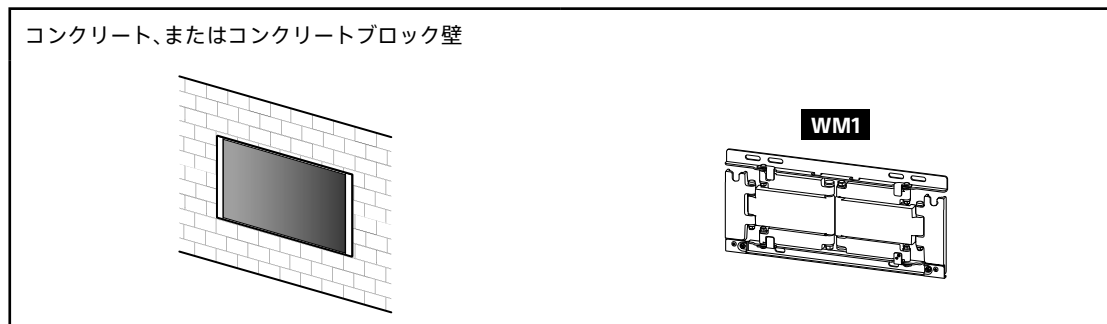
- 設置後、テレビを壁から離したり、近づけたりする場合、左右のスピーカーを持たないようにしてください。



B コンクリートまたはコンクリートブロック壁にテレビを取り付ける

(9500Eシリーズのテレビ)

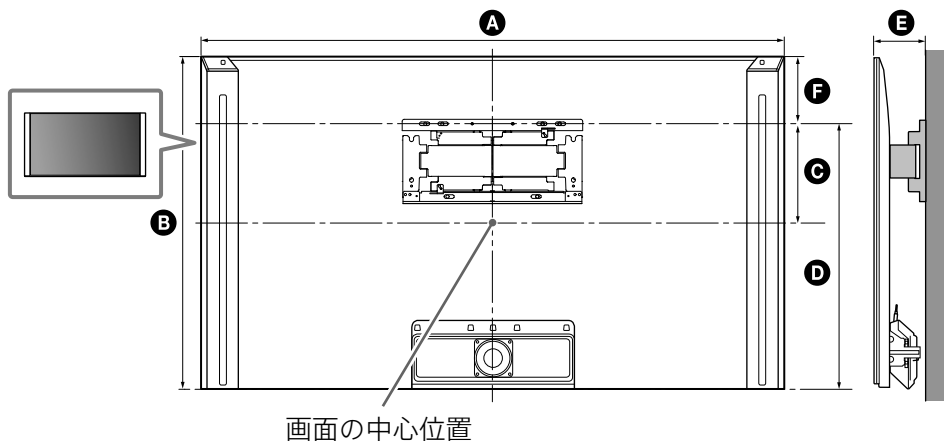
手順1：壁掛けブラケットを壁に取り付ける

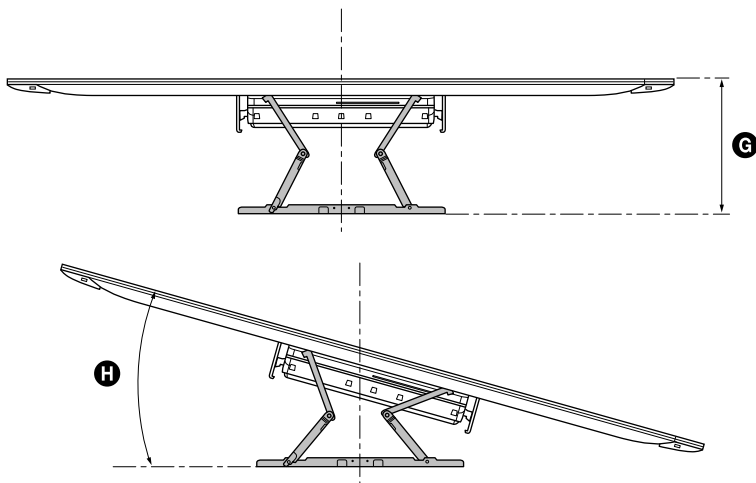


1 テレビの取り付けに必要な壁の強度とスペースを確認する。

取り付ける壁には、テレビの質量の6倍に耐えられる強度を要します。

テレビを取り付ける壁に、テレビを取り付けられる十分なスペース(幅、高さ、奥行き)があるかどうかを確認してください。



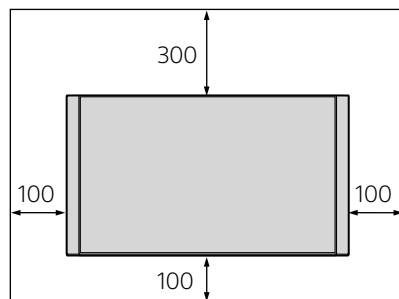


テレビモデル名	A	B	C	D	E	F	G	H* (°)
KJ-65X9500E	1592	838	237	660	127	178	295	14
KJ-55X9500E	1373	715	299	661	127	54	215	12

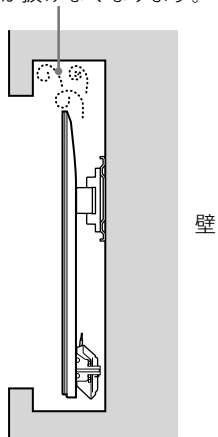
テレビ取り付けのための寸法表 (mm)
 数値は、実際と若干違いがある場合があります。

* 角度はおおよその値です。

テレビの周囲には、右の図に示す寸法の空きが必要です。
 単位：mm



次のような設置はおやめください。
空気が抜けなくなります。

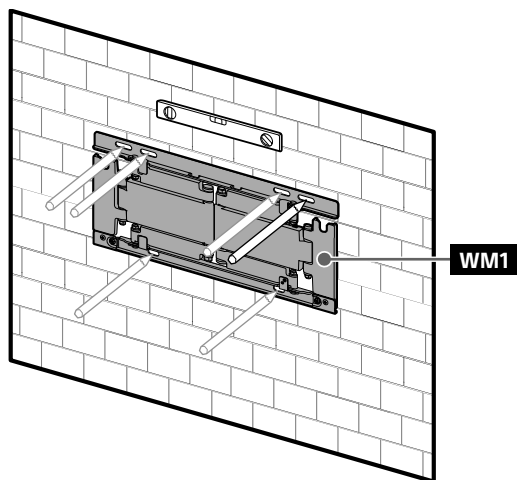


ご注意

- 壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかを確認してください。

2 壁掛けブラケット **WM1** を壁にあて、穴あけ位置の印(6箇所)を付ける。

ブラケットが床と平行になるように、水平器を使用してください。

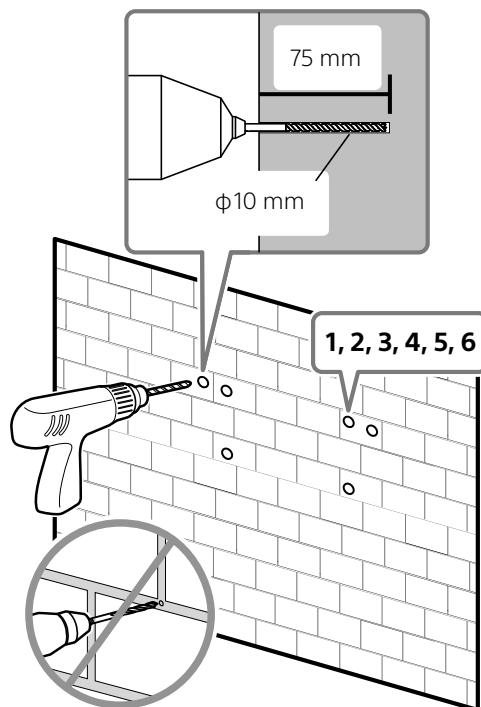


ヒント

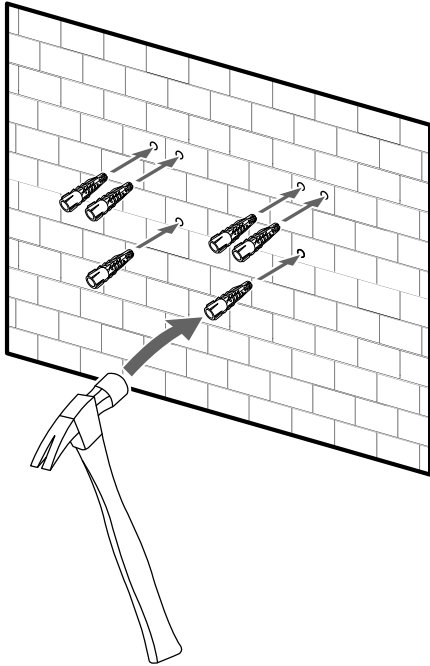
- テレビを通常視聴される環境(ソファーなど)で、テレビを取り付ける位置を調整することをおすすめします。



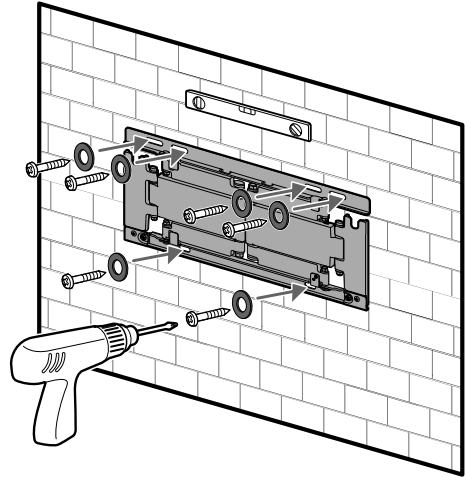
3 印に合わせて壁に下穴(6箇所)をあける。



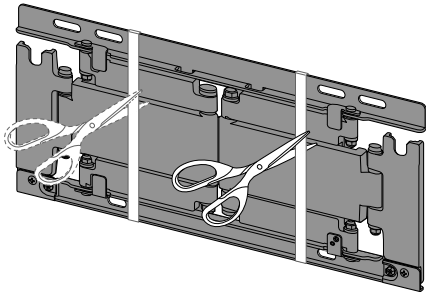
4 コンクリート用プラグ(別売)を壁に打ち込む。



6 木ネジ(別売)で壁掛けブラケット WM1 を壁に取り付ける。



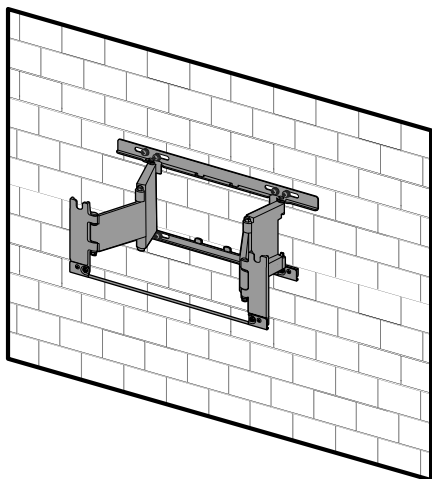
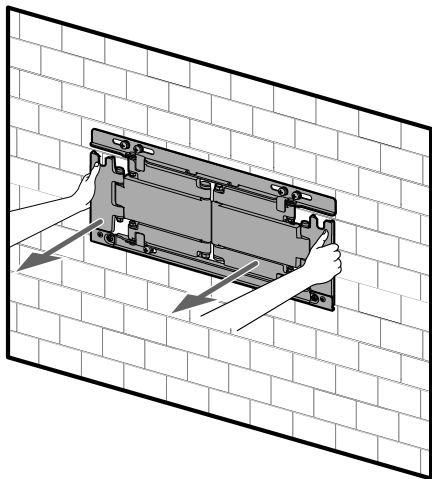
5 壁掛けブラケット WM1 のバンドを切る。



ご注意

- 正しく取り付けないと、木ネジでしっかり支えることができません。また、木ネジを締め付けすぎないようにします。
- 木ネジを締め切る前に、ブラケットが水平になっているか水平器を使って確認してください。

- 7 壁掛けブラケット **WM1** のアームを手前に引く。

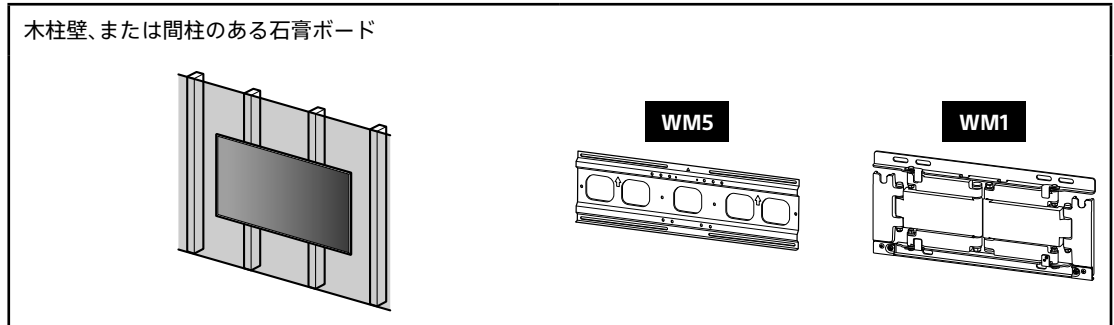


以降の手順については、本紙の12～19ページをご覧ください。

9000E/8500Eシリーズのテレビ

A 木柱壁または間柱のある石膏ボードにテレビを取り付ける

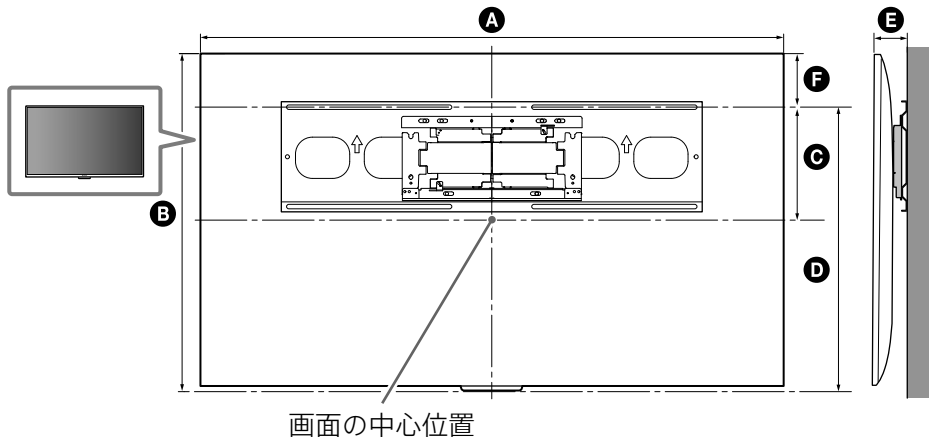
手順1：壁掛けブラケットを壁に取り付ける

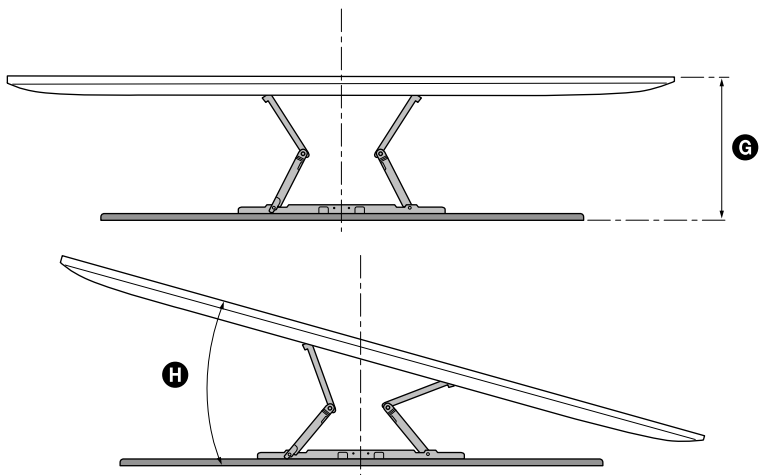


1 テレビの取り付けに必要な壁の強度とスペースを確認する。

取り付ける壁には、テレビの質量の6倍に耐えられる強度を要します。

テレビを取り付ける壁に、テレビを取り付けられる十分なスペース（幅、高さ、奥行き）があるかどうかを確認してください。





テレビモデル名	A	B	C	D	E	F	G	H* (°)
KJ-65X9000E	1447	830	129	548	107	282	279	14
KJ-65X8500E	1454	840	53	478	88	362	264	13
KJ-55X9000E	1228	707	191	549	107	158	279	16

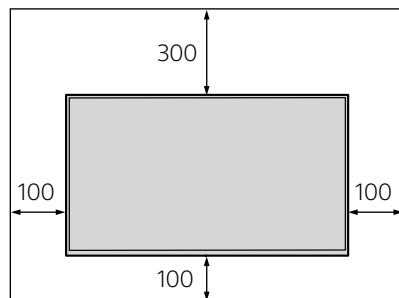
テレビ取り付けのための寸法表(mm)

数値は、実際と若干違いがある場合があります。

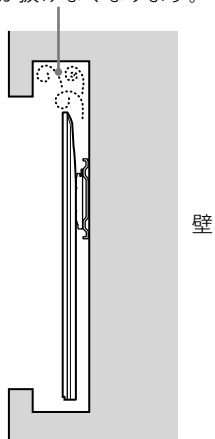
*角度はおおよその値です。

テレビの周囲には、右の図に示す寸法の空きが必要です。

単位：mm



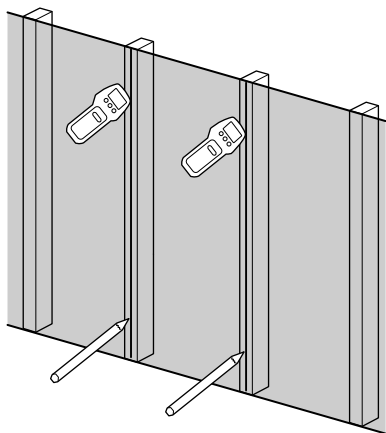
次のような設置はおやめください。
空気が抜けなくなります。



ご注意

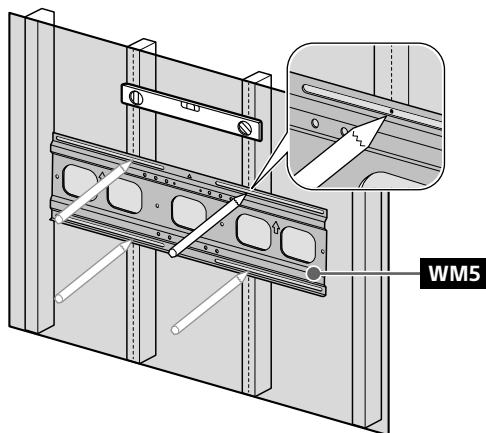
- 壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかを確認してください。

2 間柱センサーを使って、柱を探索し、梁位置の中央に線を引く。



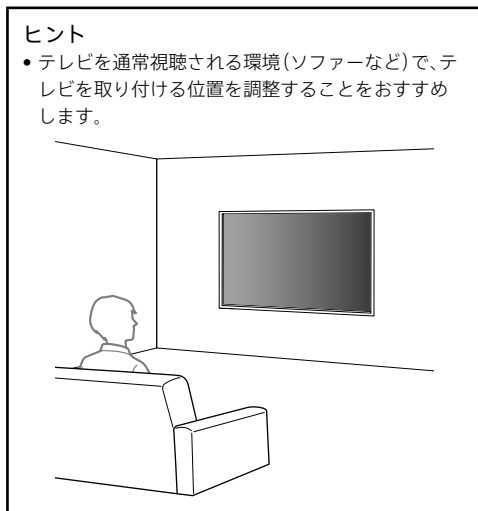
3 木柱壁用壁掛けブラケット WMS を壁にあて、柱に合わせて穴あけ位置の印(4箇所)を付ける。

ブラケットが床と平行になるように、水平器を使用してください。

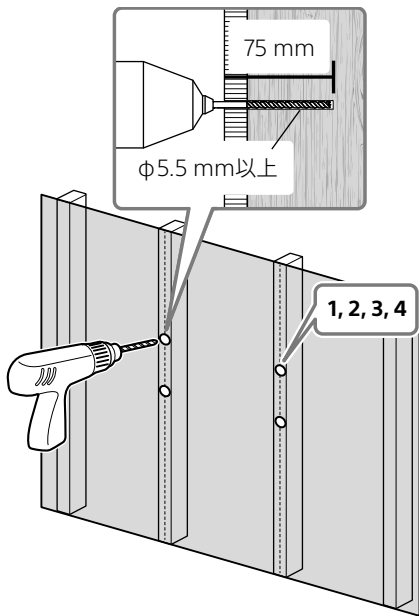


ヒント

- テレビを通常視聴される環境(ソファなど)で、テレビを取り付ける位置を調整することをおすすめします。



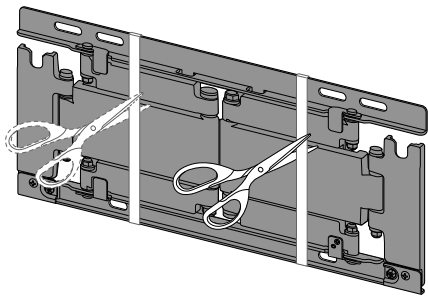
4 印に合わせて柱に下穴(4箇所)をあける。



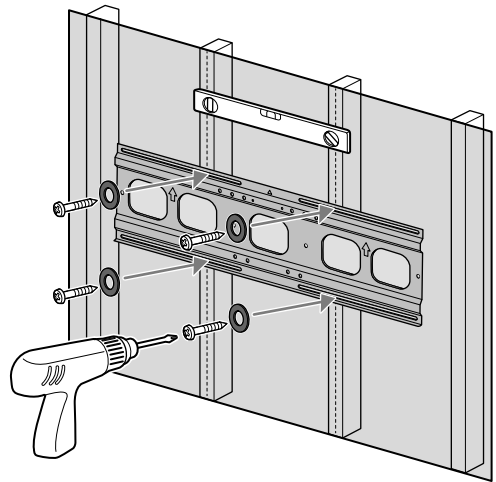
ご注意

- 必ず、木柱の中心線上に穴を開けてください。
- 下穴は、5.5mm径以上のドリルで、75mmの深さまで開けてください。

5 壁掛けブラケット **WM1** のバンドを切る。



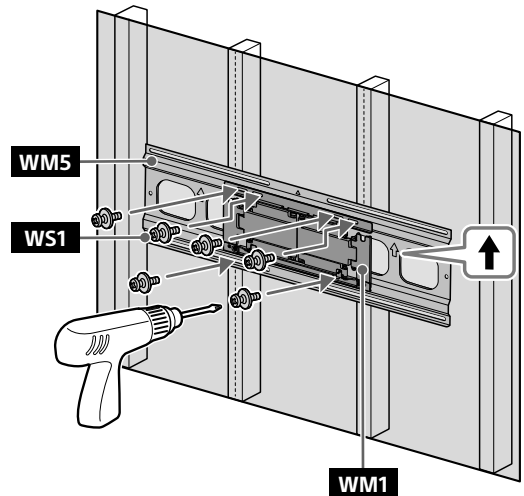
6 木ネジ(別売)とワッシャー (別売) で、木柱壁用壁掛けブラケット **WM5** を壁に取り付ける。



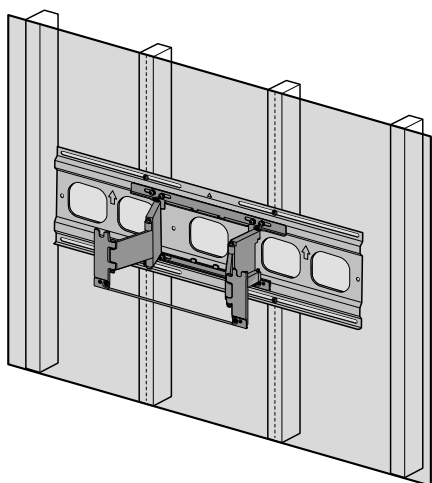
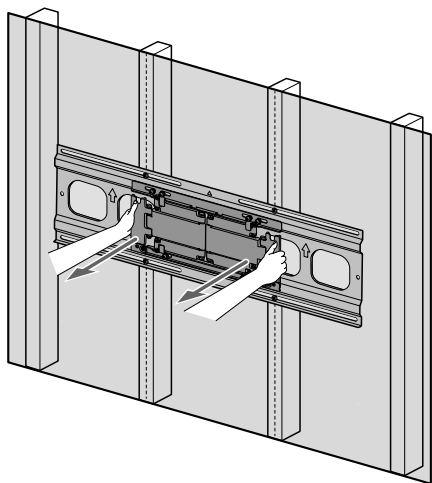
ご注意

- 正しく取り付けないと、木ネジでしっかり支えることができません。また、木ネジを締め付けすぎないようにします。
- 木ネジを締め切る前に、ブラケットが水平になっているか水平器を使って確認してください。

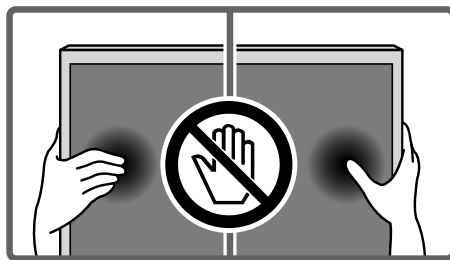
7 ネジ **WS1** で、壁掛けブラケット **WM1** を木柱壁用壁掛けブラケット **WM5** に取り付ける。



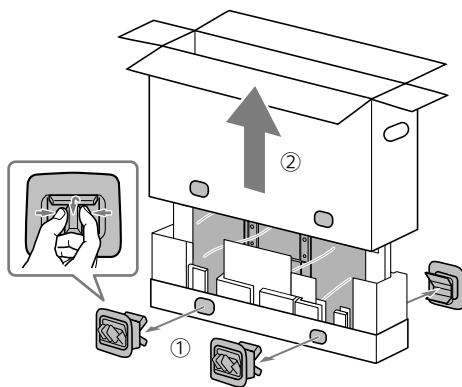
8 壁掛けブラケット **WM1** のアームを手前に引く。



手順2：壁掛け金具を取り付ける



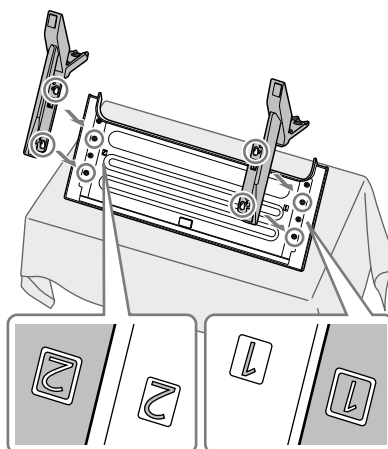
1 カートン(箱)からジョイントを取り外し(①)、箱の上部を取り外す(②)。



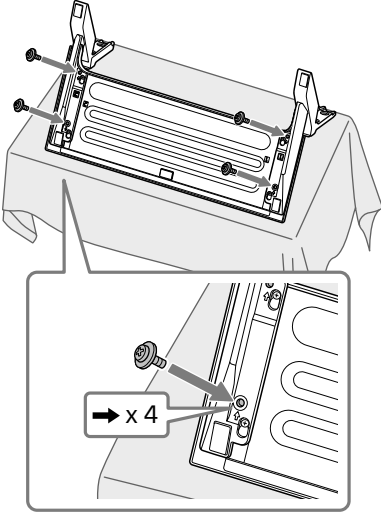
2 スタンドを組み立て、テレビをスタンドに立てる。

9000Eシリーズのテレビの場合

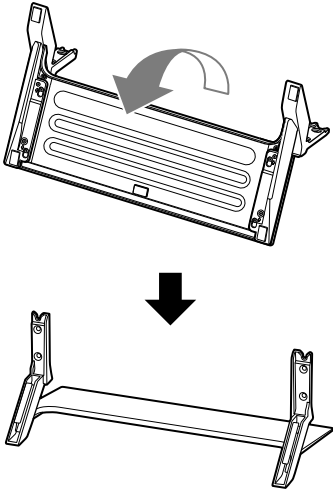
①



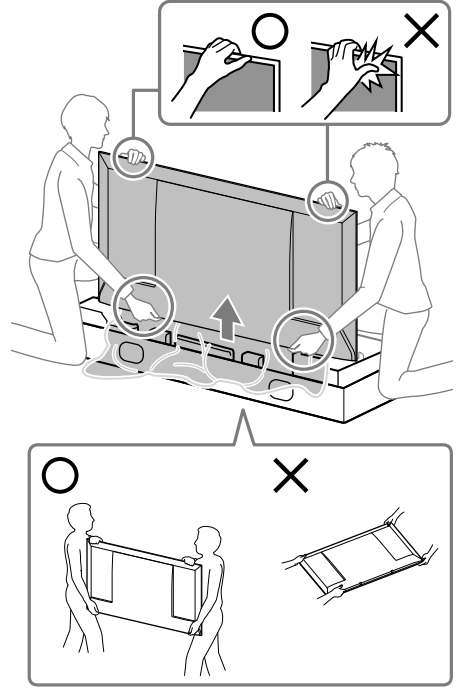
②



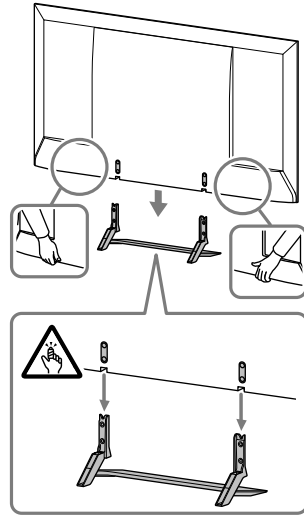
③



④

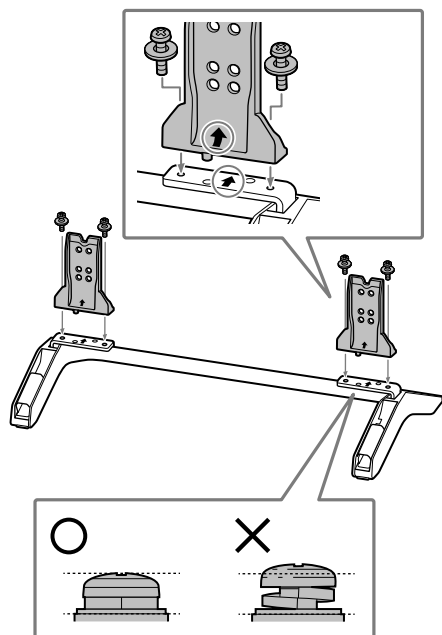


⑤

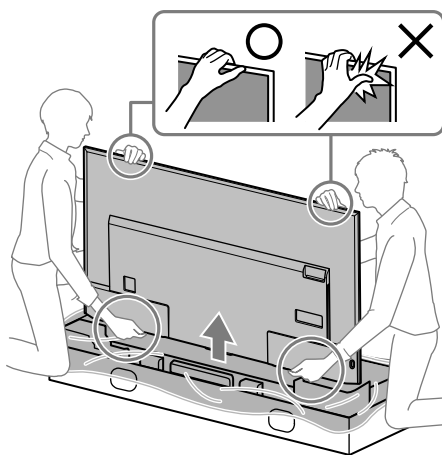


8500Eシリーズのテレビの場合

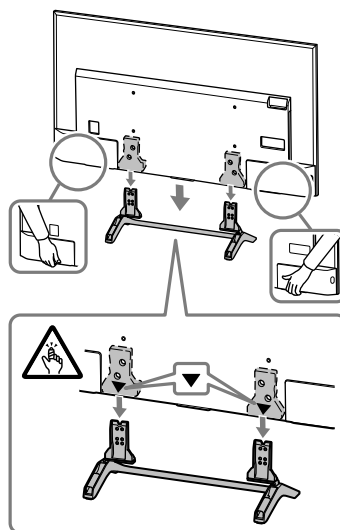
①



②



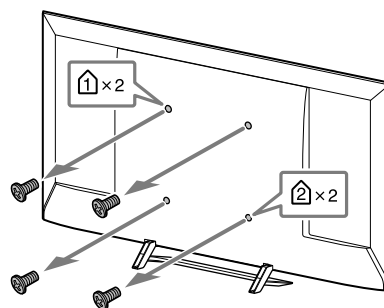
③



ヒント

- スタンドの組み立てについて詳しくは、テレビに付属の「組み立て／設置ガイド」をご覧ください。

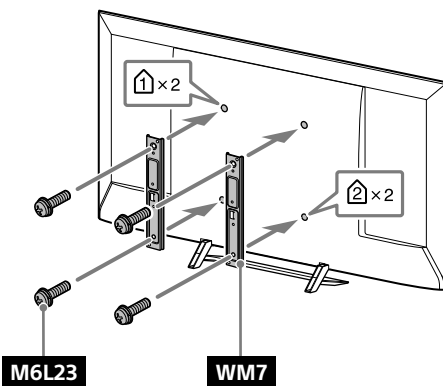
3 テレビの背面からネジを4本取り外す。



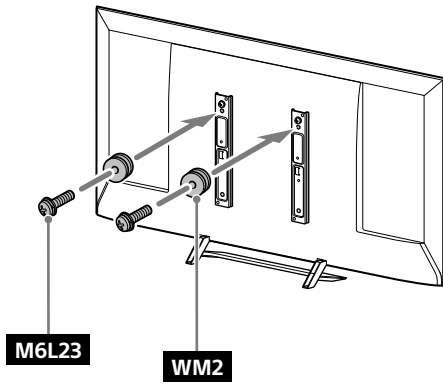
ご注意

- テレビを付属のスタンドに戻す場合は、必ず保管したネジを元の場所に取り付けてください。

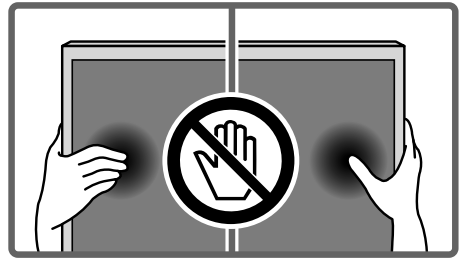
4 壁掛け金具 **WM7** をテレビの背面に取り付ける。



5 ネジ **M6L23** で、テレビの背面にブリー
リー **WM2** を取り付け。

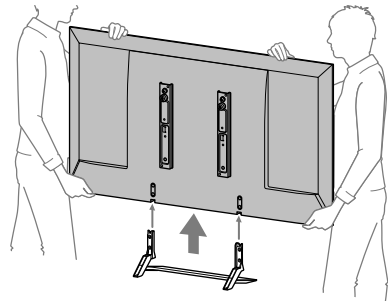


手順3：テレビを壁に掛ける

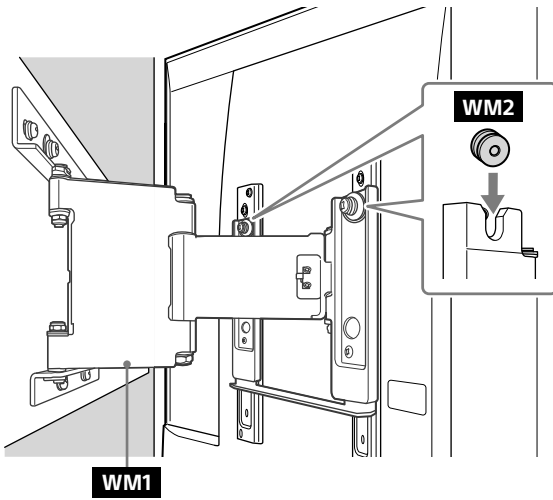
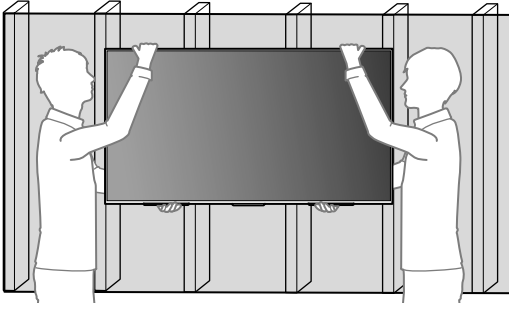


- 液晶画面を押さえたり、強い力を加えたりしないでください。

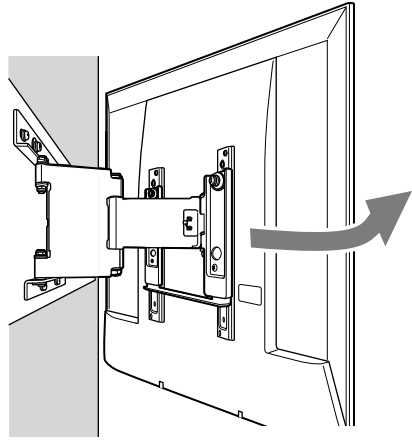
1 テレビを持ち上げる。



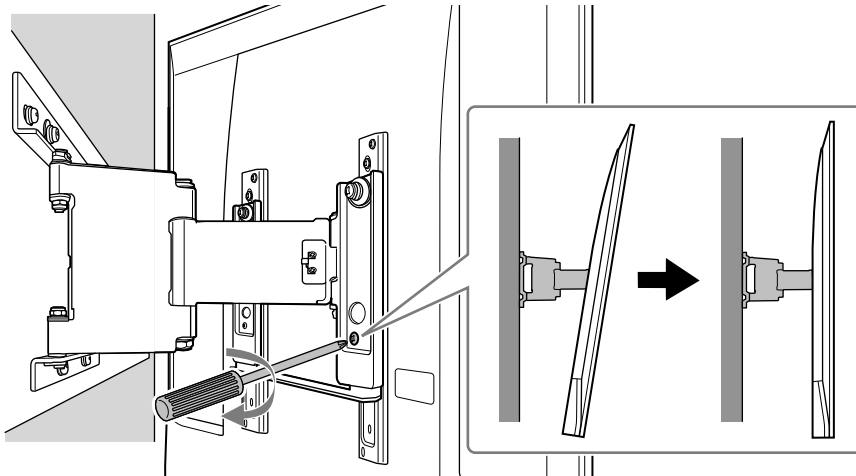
2 テレビ背面のプーリー **WM2** を壁掛け
ブラケット **WM1** に取り付ける。



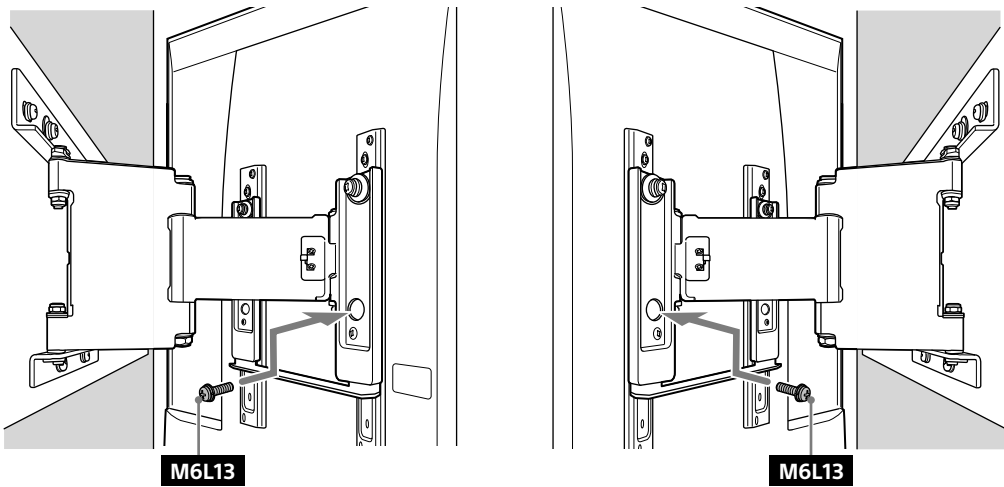
3 テレビを壁から離す。



4 壁掛けブラケット **WM1** の左右に付いているネジで、テレビの角度を調節する。

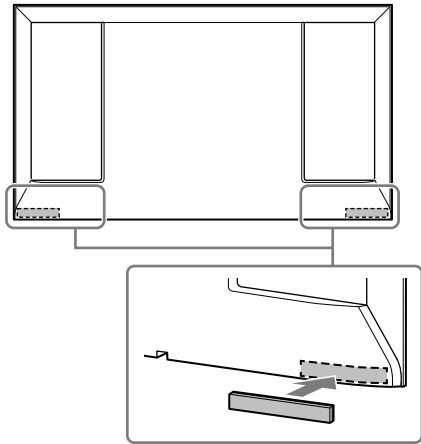


5 ネジ **M6L13** で、壁掛けブラケット **WM1** とテレビを固定する。

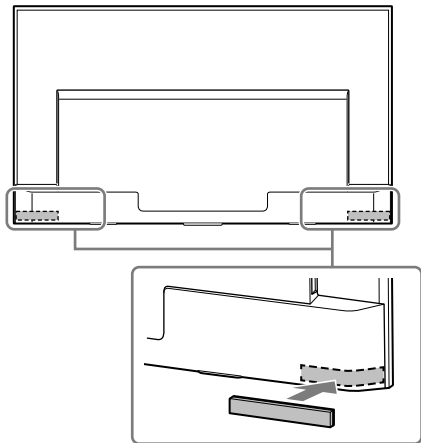


6 クッションを取り付ける。

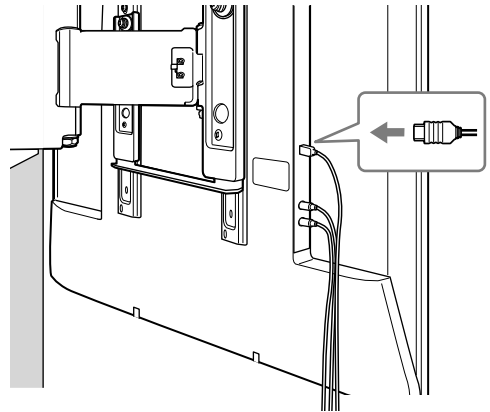
9000Eシリーズのテレビの場合は **WM6** を使用



8500Eシリーズのテレビの場合は **WM6** を使用



7 ケーブル類を取り付ける。

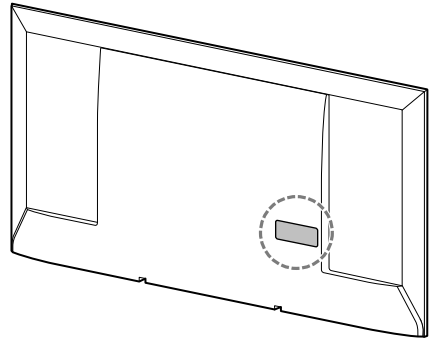


ヒント

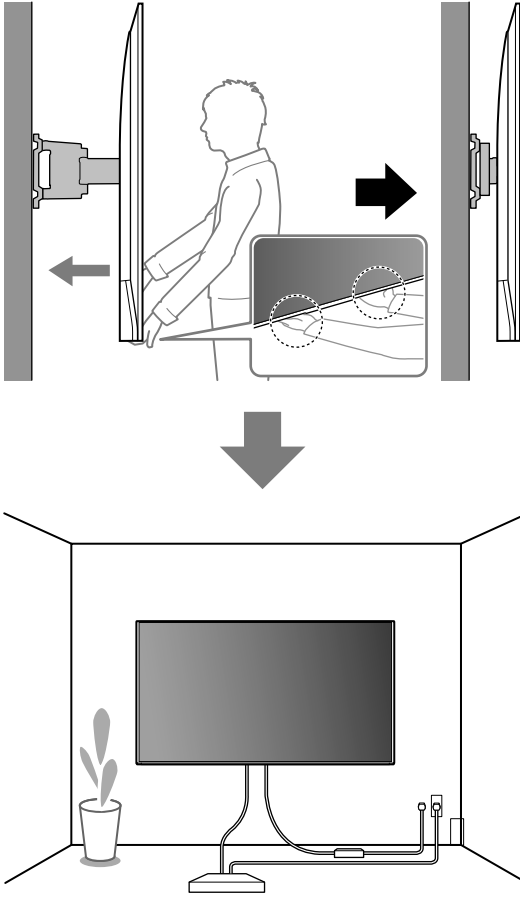
- ケーブル類の取り付けについて詳しくは、テレビに付属の「組み立て／設置ガイド」をご覧ください。

ご注意

- 壁掛けした際にテレビ背面端子の一部が使えない場合があります。



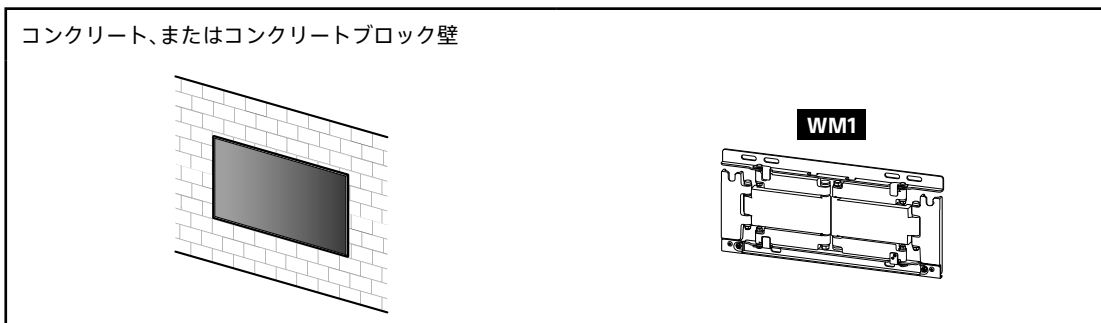
8 テレビの下部を持って、テレビを壁側に動かす。



■ コンクリートまたはコンクリートブロック壁にテレビを取り付ける

(9000E/8500Eシリーズのテレビ)

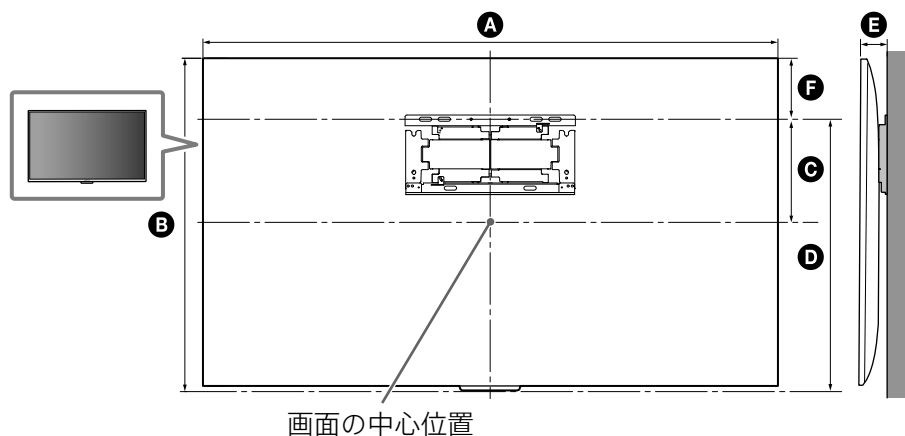
手順1：壁掛けブラケットを壁に取り付ける

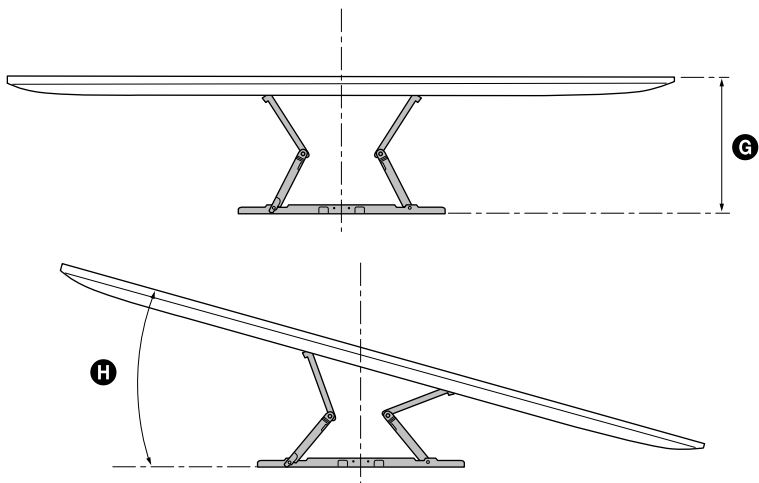


1 テレビの取り付けに必要な壁の強度とスペースを確認する。

取り付ける壁には、テレビの質量の6倍に耐えられる強度を要します。

テレビを取り付ける壁に、テレビを取り付けられる十分なスペース(幅、高さ、奥行き)があるかどうかを確認してください。



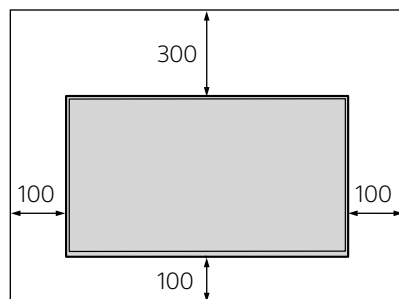


テレビモデル名	A	B	C	D	E	F	G	H* (°)
KJ-65X9000E	1447	830	98	517	93	313	265	14
KJ-65X8500E	1454	840	22	447	74	393	250	13
KJ-55X9000E	1228	707	160	518	93	189	265	16

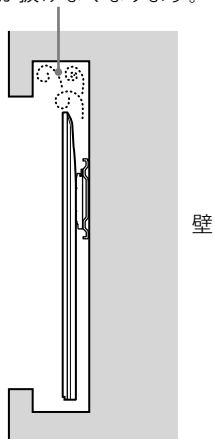
テレビ取り付けのための寸法表(mm)
 数値は、実際と若干違いがある場合があります。

*角度はおおよその値です。

テレビの周囲には、右の図に示す寸法の空きが必要です。
 単位：mm



次のような設置はおやめください。
空気が抜けなくなります。

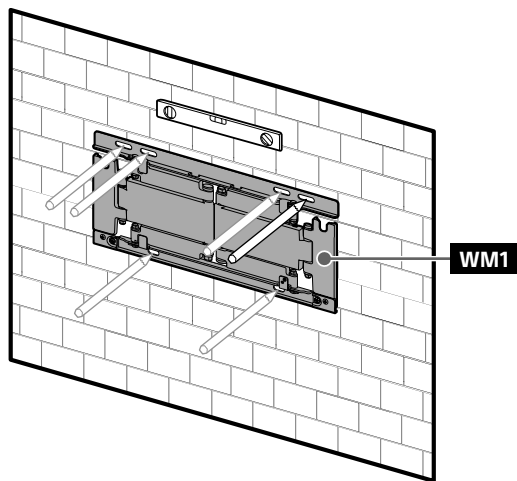


ご注意

- 壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかを確認してください。

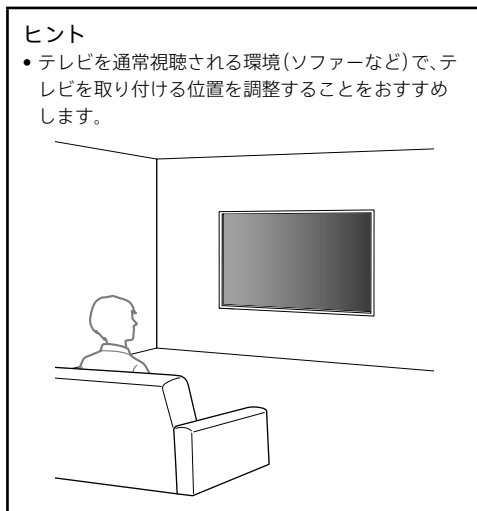
2 壁掛けブラケット **WM1** を壁にあて、穴あけ位置の印(6箇所)を付ける。

ブラケットが床と平行になるように、水平器を使用してください。

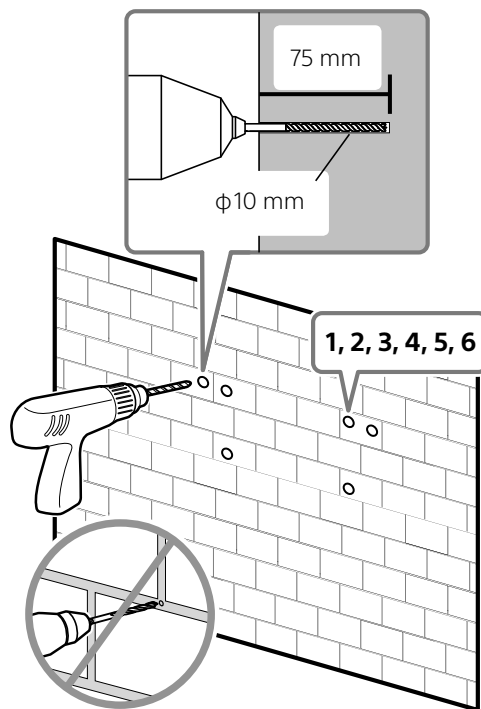


ヒント

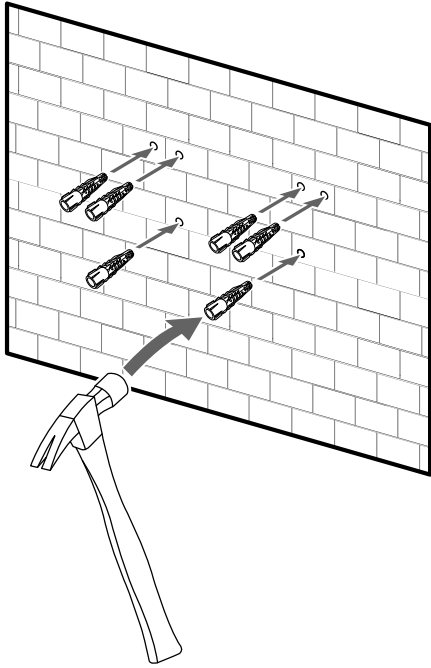
- テレビを通常視聴される環境(ソファーなど)で、テレビを取り付ける位置を調整することをおすすめします。



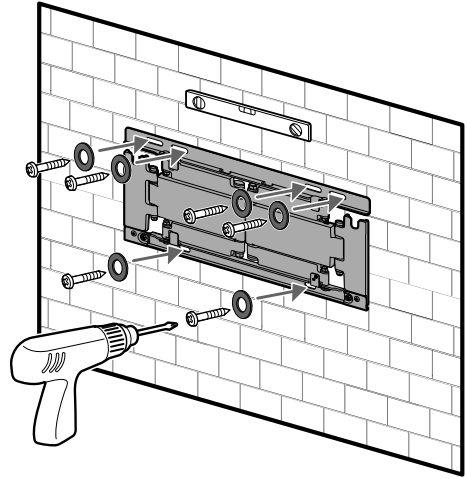
3 印に合わせて壁に下穴(6箇所)をあける。



4 コンクリート用プラグ(別売)を壁に打ち込む。



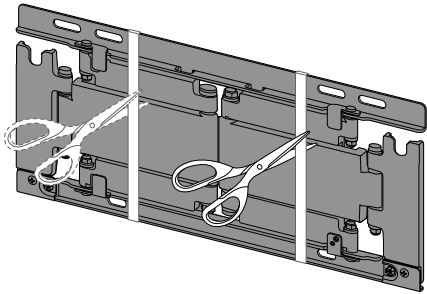
6 木ネジ(別売)で壁掛けブラケット WM1 を壁に取り付ける。



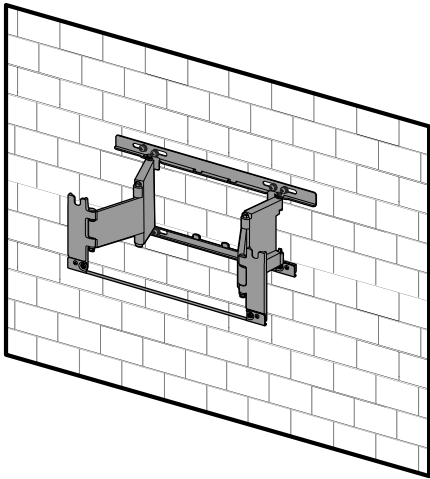
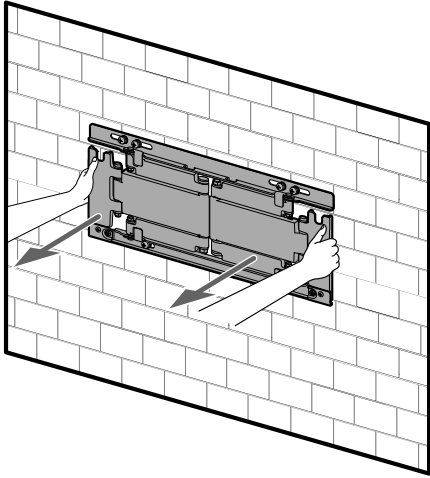
ご注意

- 正しく取り付けないと、木ネジでしっかり支えることができません。また、木ネジを締め付けすぎないようにします。
- 木ネジを締め切る前に、ブラケットが水平になっているか水平器を使って確認してください。

5 壁掛けブラケット WM1 のバンドを切る。



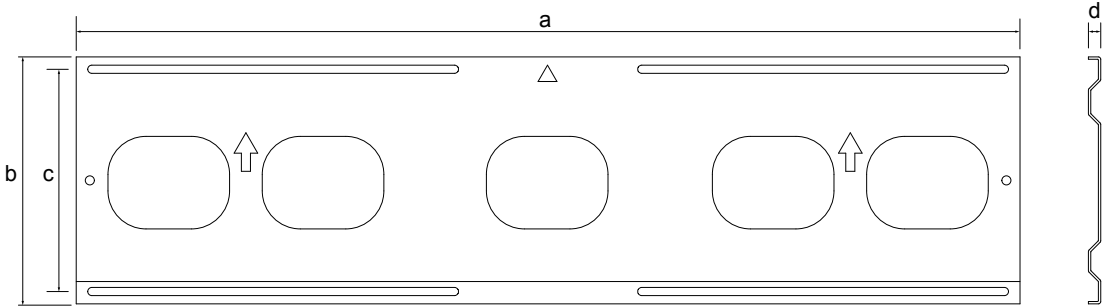
- 7 壁掛けブラケット **WM1** のアームを手前に引く。



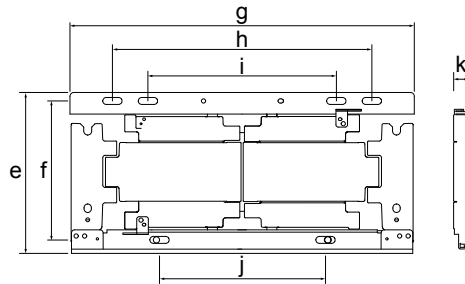
以降の手順については、本紙の29～36ページをご覧ください。

主な仕様

WM5



WM1



寸法：(約) [mm]

SU-WL825
 a : 1,040
 b : 273
 c : 245
 d : 14
 e : 206
 f : 180
 g : 446
 h : 336
 i : 244
 j : 215
 k : 20

SU-WL820
 a : 1,040
 b : 273
 c : 245
 d : 14
 e : 206
 f : 180
 g : 346
 h : 252
 i : 160
 j : 130
 k : 20

質量(壁掛けブラケットのみ)：(約) [kg]

SU-WL825
WM5 4.9
WM1 2.7

SU-WL820
WM5 4.9
WM1 2.3

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9599**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「200」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1